

2026年3月期 第2四半期 決算説明会

2025年10月31日
ジェコス株式会社



- 2026年3月期 第2四半期決算概要 P.3
- 2026年3月期業績予想 P.11
- 事業別の概況 P.15
- 資本政策と中期経営計画の進捗状況 P.26
- データ集 P.32

2026年3月期 第2四半期決算概要

各指標ともに前年同期および当初予想を上回り、PBRにおいてもプラス0.21増加となり順調に進捗

営業利益**3,731** 百万円

前年同期比（増減）

+35.6 %

(+979 百万円)

当初予想比（増減）

+13.1 %

(+431 百万円)

中間純利益**2,755** 百万円

前年同期比（増減）

+57.0 %

(+1,000 百万円)

当初予想比（増減）

+19.8 %

(+455 百万円)

PBR**0.68** 倍

前年9月末

0.47 倍

前年同期比（増減）

+0.21

上期計画対比で増益となり、通期業績予想を上方修正

【 2026年3月期通期業績予想 】



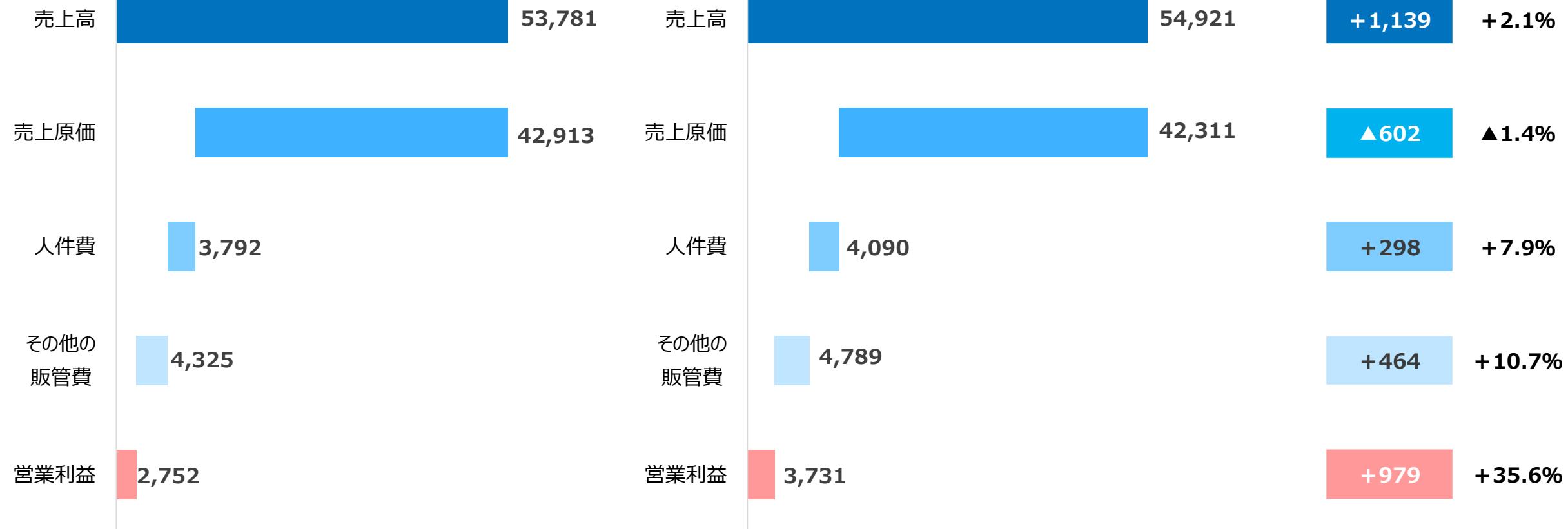
人件費等の販管費は増加するも、物件の順調な進捗、採算性向上の取り組み等により営業利益は増益

(百万円)

2025年3月期 上期実績

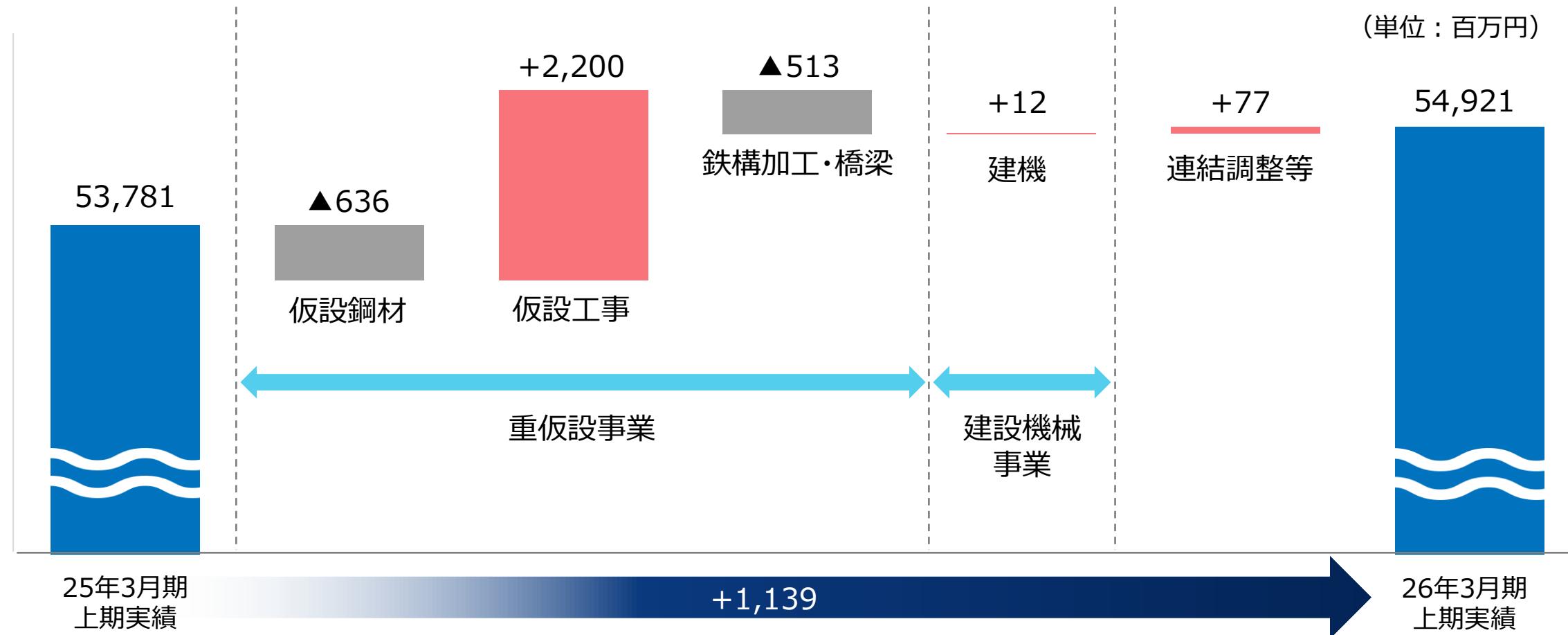
2026年3月期 上期実績

前年同期
増減額 増減率

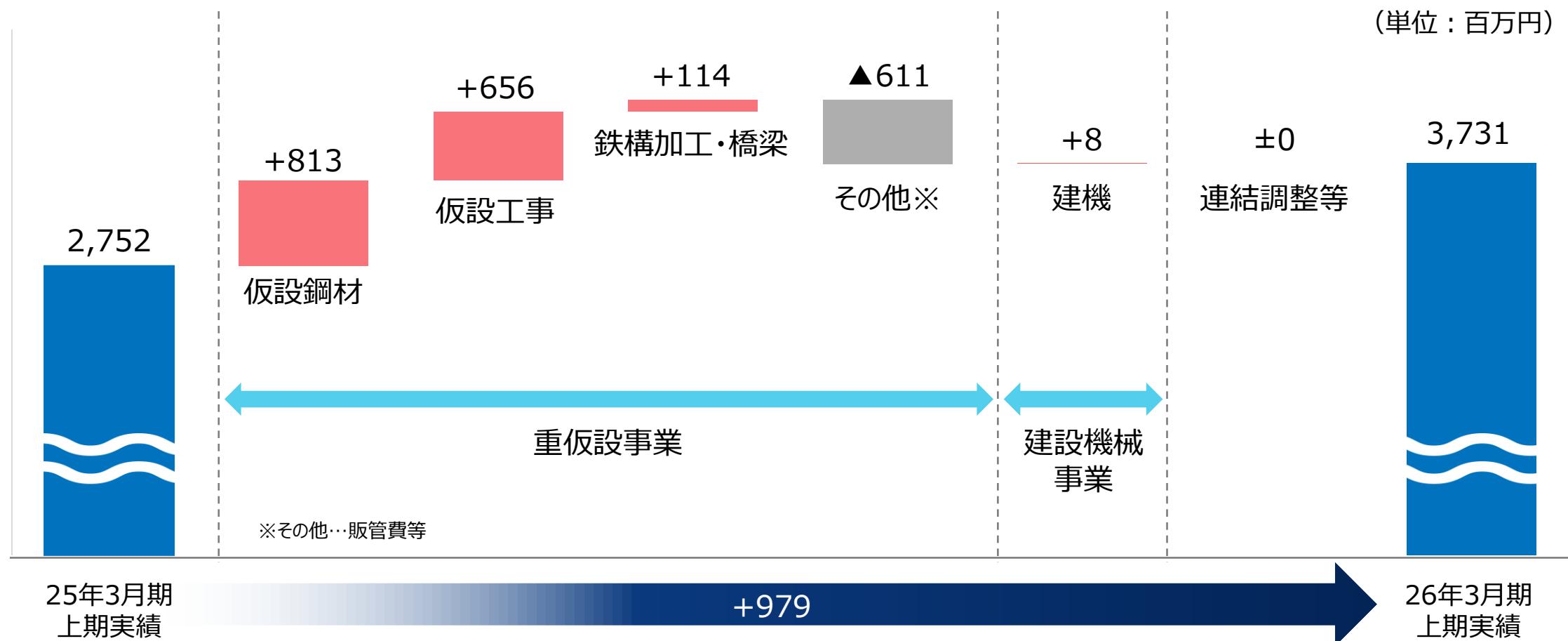


(百万円)	25年3月期 上期実績	26年3月期 上期実績	増減額	前年同期比 (%)
売上高	53,781	54,921	+1,139	+2.1%
重仮設事業	47,909	48,959	+1,050	+2.2%
建設機械事業	7,208	7,219	+12	+0.2%
調整額	▲1,335	▲1,257	+77	
売上総利益	10,868	12,610	+1,742	+16.0%
営業利益	2,752	3,731	+979	+35.6%
経常利益	2,729	4,122	+1,393	+51.0%
経常利益率 (%)	5.1%	7.5%		
重仮設事業	2,744	4,246	+1,502	+54.8%
建設機械事業	150	164	+13	+9.0%
調整額	▲165	▲288	▲123	
親会社株主に帰属する 中間純利益	1,756	2,755	+1,000	+57.0%

仮設鋼材、鉄構加工・橋梁分野で減収となるも
仮設工事分野で物件の進捗が順調だったこと等により全体では增收



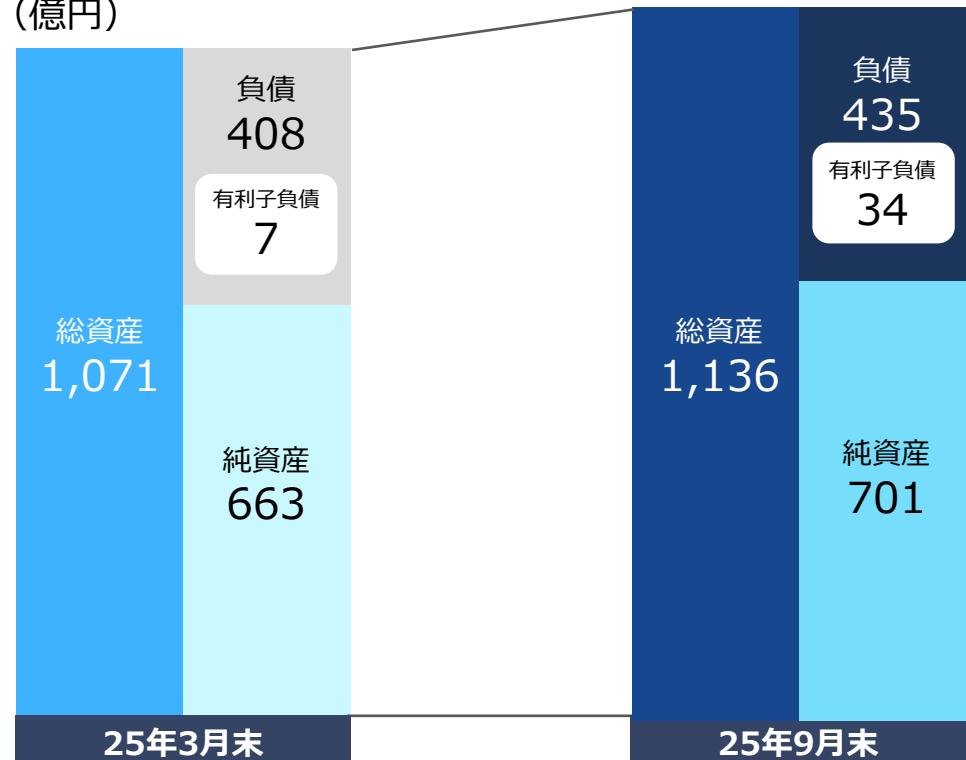
物件の進捗が順調だったことに加え、採算性向上の取り組みが進んだことにより増益



貸借対照表

- FUCHI社の連結子会社化により総資産増加

(億円)



D/Eレシオ 0.01倍
自己資本比率 61.9%

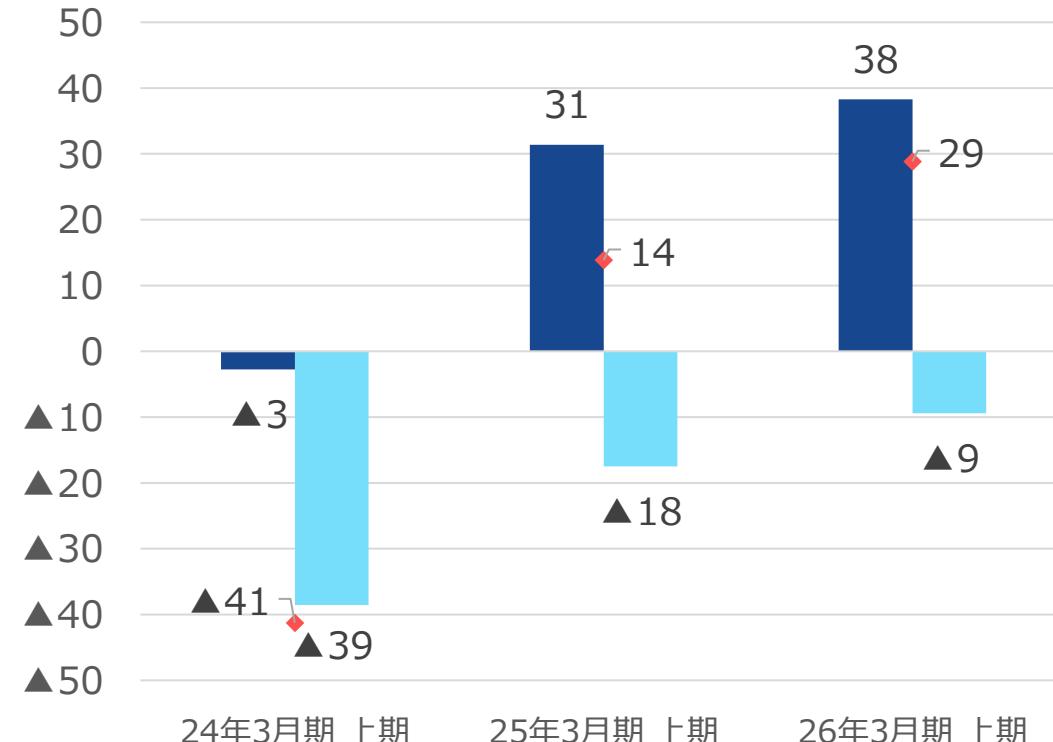
D/Eレシオ 0.05倍
自己資本比率 60.2%

※D/Eレシオ：有利子負債残高／自己資本

キャッシュ・フロー

- 営業CFは利益水準が高くプラス
- 投資CFは賃貸用建設機械の支払減、投資有価証券の売却等により、前年度より支出減

(億円)



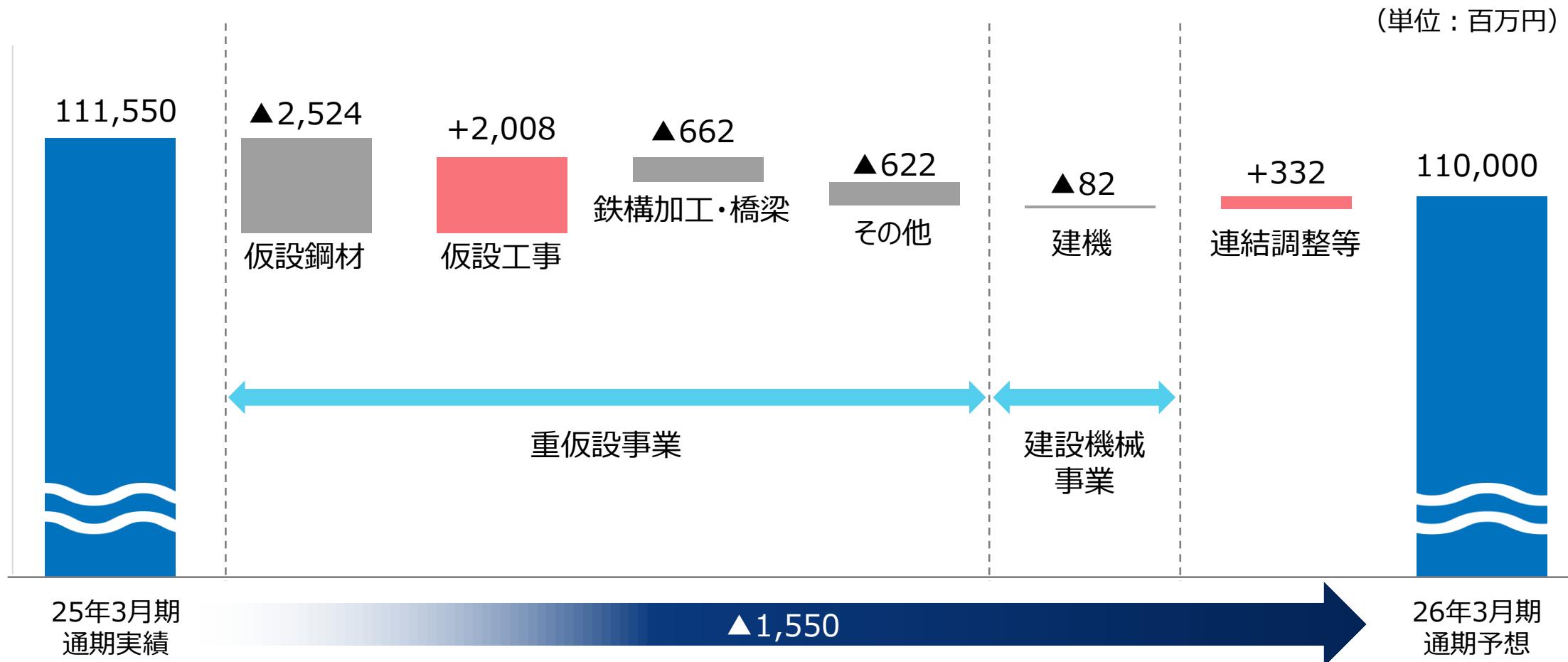
■ 営業CF ■ 投資CF ◆ フリーCF

2026年3月期業績予想

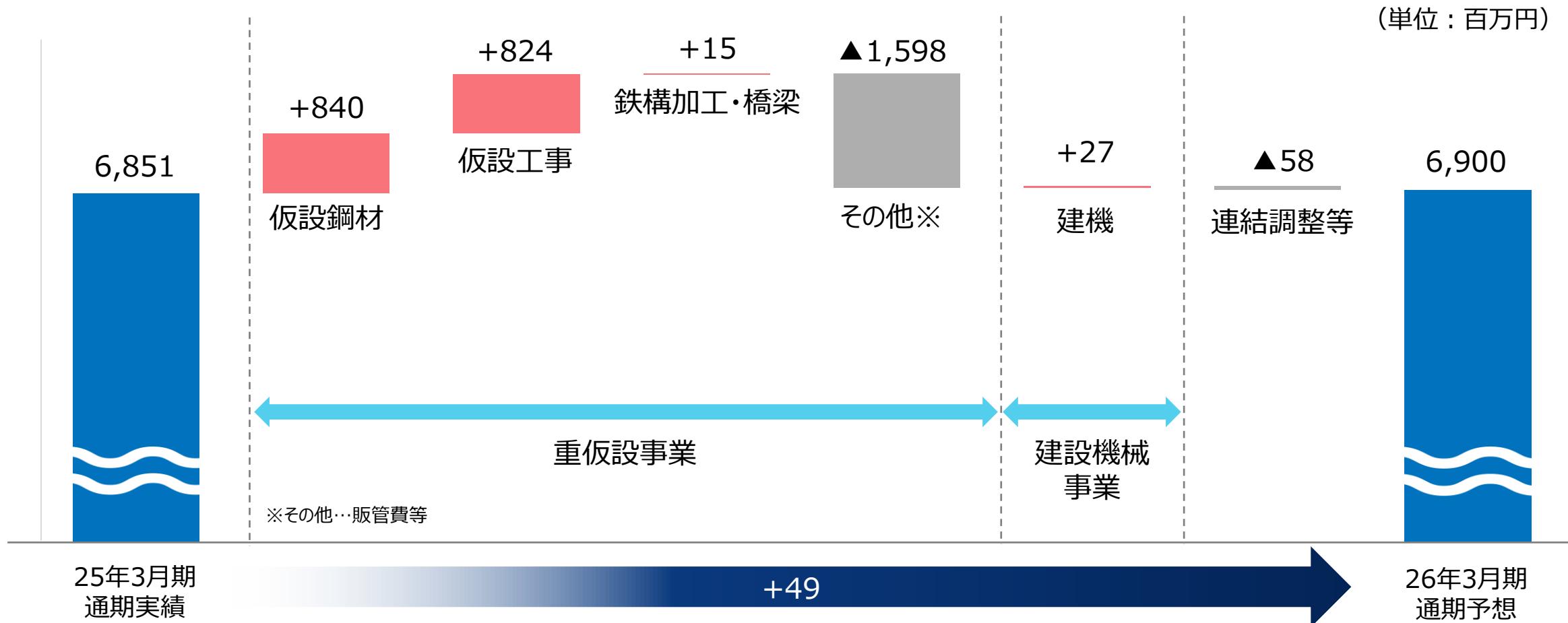
2026年3月期連結業績予想

(百万円)	25年3月期 実績		26年3月期 予想		増減	
	上期	通期	上期	通期	上期	通期
売上高	53,781	111,550	54,921	110,000	+1,139	▲1,550
重仮設事業	47,909	99,800	48,959	98,000	+1,050	▲1,800
建設機械事業	7,208	14,582	7,219	14,500	+12	▲82
調整額	▲1,335	▲2,832	▲1,257	▲2,500	+77	+332
営業利益	2,752	6,851	3,731	6,900	+979	+49
経常利益	2,729	6,794	4,122	7,400	+1,393	+606
経常利益率 (%)	5.1%	6.1%	7.5%	6.7%		
重仮設事業	2,744	6,630	4,246	7,400	+1,502	+770
建設機械事業	150	325	164	350	+13	+25
調整額	▲165	▲161	▲288	▲350	▲123	▲189
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,756	4,543	2,755	4,950	+1,000	+407

仮設鋼材分野で低採算取引を抑制したこと、鉄構加工・橋梁分野で物件端境期となつことにより減収となるも、プロジェクト物件の堅調な需要により仮設工事分野は増収となり、全体では微減予想



下期も物件の順調な進捗を見込むことに加え、各分野での採算性向上の取り組み継続により
前年同期比において、減益予想から増益予想に上方修正



事業別の概況

重仱設事業

上期業績と期末予想

2026年3月期 上期

経常利益 **4,246** 百万円

前年同期比（増減）

+54.8%
(当初予想比+17.9%)

2026年3月期

上方修正

経常利益 **7,400** 百万円
(当初予想: 6,900 百万円)

前年同期比（増減）

+11.6%
(当初予想比+7.2%)

上期の分野別売上高

仮設鋼材

288 億円

前年同期比（増減）

▲2.2%

仮設工事

147 億円

前年同期比（増減）

+17.5%

鉄構加工・橋梁

54 億円

前年同期比（増減）

▲8.6%

概況

- 物件の順調な進捗により、**仮設工事が増加**
- 上期超過達成となり、**年度計画を上方修正**

下期概況

2026年3月期 下期（売上利益）

前年同期比（増減）

計画充足率 **84%**
+2P

受注

引合い

営業中

合計（前年同期比）

53% + 31% + 24% = 108% (+7P)

下期見通しと重点取り組み

- 下期計画折込み物件の受注は**順調に進捗**
- 価格適正化・サービス対価取得に**継続取り組み**

※サービス対価：設計費・荷扱費・修理費等を指す

動向を注視すべき事項

- 鋼材価格下落に起因する**賃貸価格改善の停滞**
- 作業員不足による発注見合わせに伴う**需要減退**

分野概要（鋼材賃貸・販売等）



取り扱い商材



H形鋼



鋼矢板



敷鉄板



覆工板



山留材



Eco ラム工法

上期実績と下期概況

2026年3月期上期 前年同期比（増減）

売上利益 +14.5%

(2028年3月期：中計最終年度目標 2025年3月期対比+15%)

鋼材稼動量推移

前年同期比 ▲ 8.0%



※2025年3月期1Qを基準値（100）として記載

賃貸単価指数推移

鋼矢板 106

(2025年3月期比+6%)

敷鉄板 103

(2025年3月期比+3%)

※2025年3月期を基準値（100）として記載

下期見通しと重点課題

- 鋼材稼動量は下期にかけて増加をみこむ
- 賃貸価格について更なる改善が必要と認識

分野概要（仮設工事の請負）



取り扱い商材



ソイルセメント柱列式連続壁工法



アボロン工法



サイレントパイラー工法



全旋回オールケーシング工法



BG工法



各種架設解体工事

上期実績と下期概況

2026年3月期上期 前年同期比（増減）

売上利益 +24.1%

(2028年3月期：中計最終年度目標 2025年3月期対比+25%)

下期消化を見込む首都圏大型物件

● TOKYO TORCH

● 田町駅西口駅前地区開発事業

● 新秩父宮ラグビー場

● 内幸町一丁目街区再開発事業

● 赤羽二丁目計画

● 立石駅北口地区再開発事業

下期見通しと重点課題

●稼動現場は下期にかけて増加をみこむ

●計画消化量を充足するリソース確保

分野概要

主な対象領域

鉄道・道路・シールド工事

取り扱い商材



上期実績と下期概況

2026年3月期上期 前年同期比（増減）

売上利益 +12.9%

(2028年3月期：中計最終年度目標 2025年3月期対比+30%)

トピックス

実測から製作までワンストップ対応

～福島県沖地震を踏まえた新幹線高架橋柱の耐震補強工事～



下期見通しと重点課題

- 鉄道・道路インフラ関連工事の発注は堅調
特に関東を中心に鉄道PJ関連工事が旺盛
- 道路維持修繕関連工事（材工発注物件）
に対応可能な主任技術者の確保

分野概要（対象領域）



地下工事の概略フローと山留周辺分野対象領域

準備工 測量、地盤調査、造成、仮囲い・仮設ハウス設置等

撤去工 既存構造物上屋解体、既存構造物地下解体・撤去

基礎工 本杭打設（場所打ち杭・既成杭）、地盤改良

掘削工 掘削、**山留**、地下水処理、計測管理、地盤改良

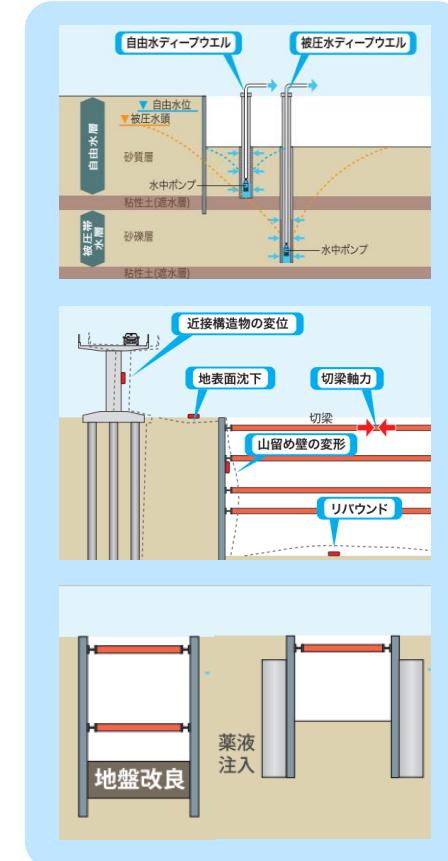
躯体工 構築（鉄筋・型枠・コンクリート打設・鉄骨建て方等）

注力領域と推進体制

地下水処理

計測管理

地盤改良



山留周辺分野の事業体制構築にむけ
ジオ・エンジニアリング部を新設

海外事業 成長戦略イメージ

ジェコス×GECOSS VIETNAM×FUCHIの連携による東南アジアにおける商圈拡大



建設機械事業

上期業績と期末予想

2026年3月期 上期

経常利益 **164 百万円**

前年同期比（増減）

+9.0%
(当初予想比+9.2%)

2026年3月期

下方修正

経常利益 **350 百万円**
(当初予想：450 百万円)

前年同期比（増減）

+7.6%
(当初予想比▲22.2%)

概況

2026年3月期 上期

主要賃貸機械稼動率 **51 %** 前年同期比（増減）

+2.0P

- 資産構成見直しに伴う**保有資産の入替**が一巡
- 稼動率向上（資産入替効果）により**賃貸収益増**
- 需要減退地域での競争激化に伴う**採算悪化**
- 一過性の費用発生に伴う**コスト増加**

下期概況

資産構成の見直しによる収益拡大

戦略商品の 市場投入



商品一例：軽仮設材（移動式室内足場）
「ヘリオムーブ」

下期見通しと重点取り組み

- 資産入替効果により更なる**賃貸収益増**を見込む
- みずほリースとの資本業務提携による**協業加速**

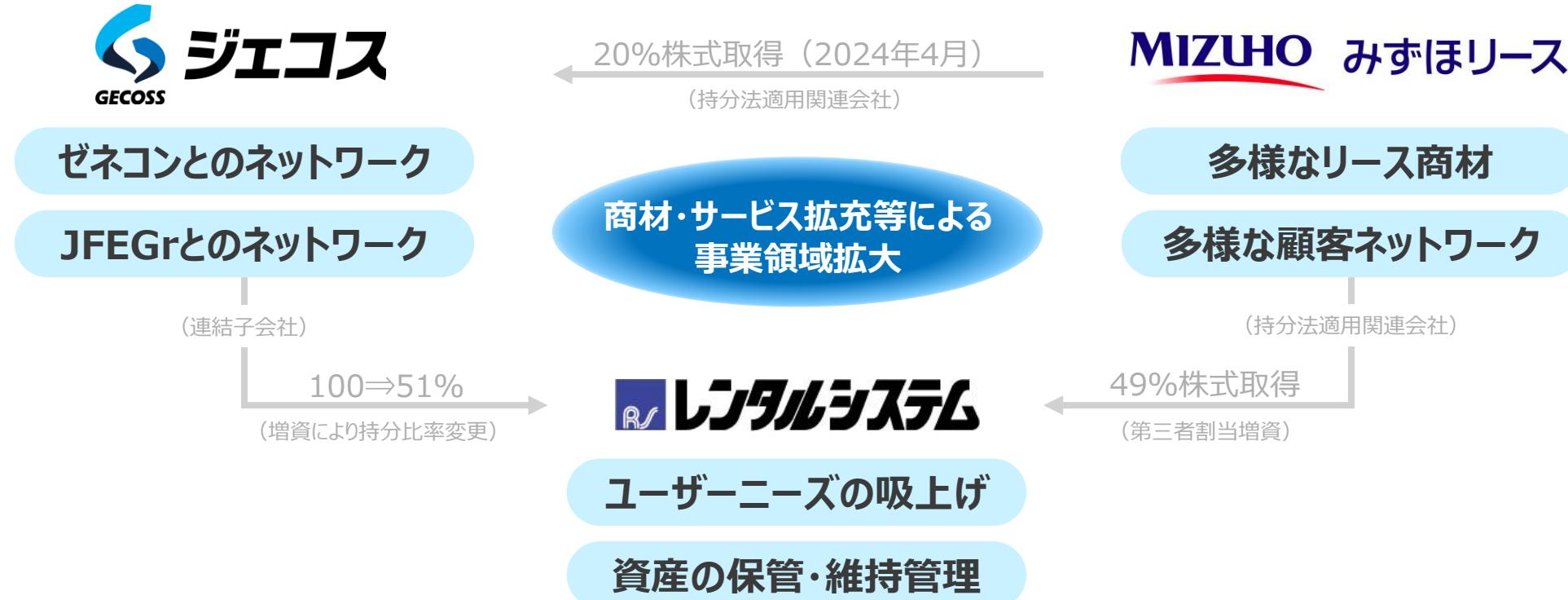
動向を注視すべき事項

- 需要減退地域での**更なる採算悪化**
- 戰略商品（軽仮設等）の**市場認知・浸透度**

2025年9月26日、当社ならびに当社連結子会社のレンタルシステムとみずほリースとの間で、資本業務提携契約を締結

ジェコスグループの建設機械事業を担うレンタルシステムの価値最大化を早期実現

- ①取扱商材の拡大
- ②顧客層の拡大
- ③3社の事業ノウハウ、インフラ等の活用が可能な新規分野での協業
- ④相互の人材交流



資本政策と中期経営計画の進捗状況

ジェコスグループ
の目指す姿

「支える力」で、
未来を拓く。

中長期的事業戦略
～重仮設事業を核に事業領域を拡大し、事業ポートフォリオの多様化を推進～

ジェコスグループ中期経営計画（2025～2027）

事業環境変化を見据えた成長基盤確立と成長戦略を支える労働生産性向上

（成長戦略）

- 1 国内重仮設事業 収益力向上
- 2 建設機械事業 基盤再構築
- 3 鉄構加工・橋梁 分野規模拡大
- 4 海外・山留周辺 事業領域拡大

連結営業利益

2027年度目標

85億円

ROE

2027年度目標

8.0%以上

2027年度中期最終年度 主要指標

収益目標	営業利益	85億円
	当期利益	60億円
財務目標	ROE	8.0%以上
	D/Eレシオ	最大0.4倍程度
配当方針	配当性向	40%程度
	DOE	2.5%以上

中長期目標

PBR : 1.0倍以上、ROE : 10.0%以上

キャッシュアロケーション計画 (2025～2027年度累計)

当期利益

160億円程度
(目標)

減価償却
90億円程度

借入金
170億円程度

株主還元
60億円程度

通常投資
80億円程度

成長投資
250億円程度

30億円程度

外部環境認識

国内経済

- ・人口減少
- ・緩やかに内需減少

環境

- ・脱炭素・資源循環加速
- ・自然災害の激甚化

社会

- ・担い手不足
- ・AI・DXの進歩

建設業界

- ・維持・更新需要増
- ・非住宅着工延床数減少

成長投資

2025～2027年度累計

250億円程度

配当方針

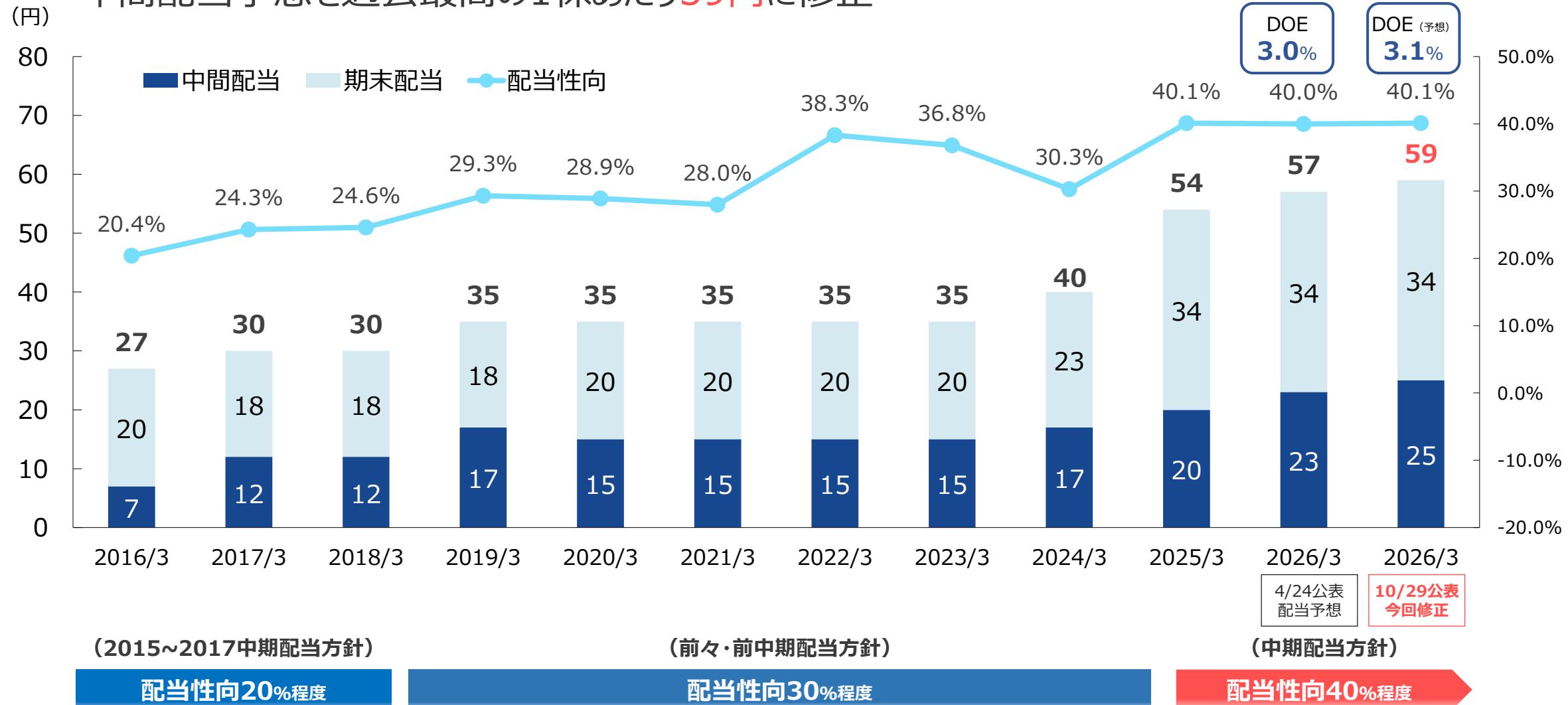
配当性向 : **40%程度**

DOE : **2.5%以上**

資金の源泉

資金の使途

26年3月期は中間配当を4月公表予想から2円増配の25円とし
年間配当予想を過去最高の1株あたり59円に修正



PBRの推移

**2024年度比
+0.15**



ROEの推移

**2024年度比
+0.3 P**



PERの推移

**2024年度比
+1.7**



中期経営計画（2025～2027）・中長期目標

ROEの向上

- 27年度目標：8.0%以上達成
- 中長期目標：10.0%以上指向

PBRの改善

- 27年度目標：0.8倍以上
- 中長期目標：1.0倍以上

PERの向上

- 持続的成長期待の実現

① 事業ポートフォリオ多様化に向けた投資の実施

⇒ シンガポールFUCHI社 連結子会社化

② 株主還元の強化

⇒ 中期配当方針 配当性向40%程度、
DOE2.5%以上（26年3月期予想
配当性向40.1%、DOE3.1%）

③ IR活動の強化

⇒ 個人投資家向け説明会の定期開催

投資計画：山留周辺分野、鉄構加工・橋梁分野、海外M&A⇒**220億円程度**（中期経営計画期間）

シンガポールFUCHI社への追加出資25百万SGD（約29億円）を実施

2025年8月、ジェコスグループの**海外事業展開における中核会社**とすべく**連結子会社化**（第三者割当増資引受）



国内営業ネットワーク

重仮設大手・高い技術力

国内オペレーション手法

豊富な地下工事の実績

シンガポールの事業環境等

- 建設投資額は、足元**5兆円規模**で増加傾向
- 空港、地下鉄などの**旺盛な需要継続**を見込む
- 重仮設大手はFUCHI社を含め**4社**
- 旺盛な需要を背景に**受注者有利な状況**が継続

日系GC向け受注拡大とオペレーション強化による収益拡大

2023年5月：30%出資

持分法適用関連会社
(30%保有)

2025年8月：40%出資

連結子会社
(70%保有)

施工現場等のご紹介

地下鉄（MRT）工事施工風景



FUCHI社スタッフ



地下鉄（MRT）工事施工風景



投資計画：DXおよび労働生産性向上、技術開発、社員の働きがいの向上⇒**30億円**程度（中期経営計画期間）

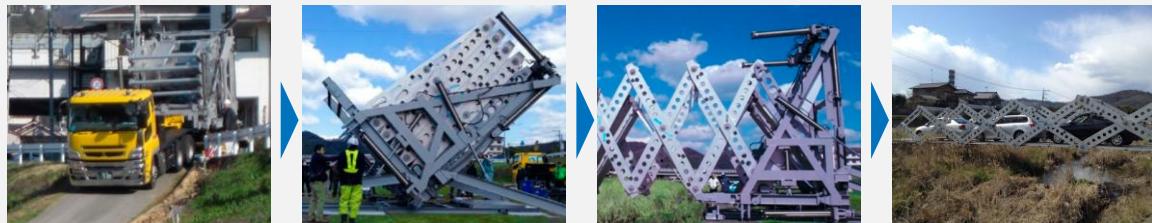
（技術開発）緊急仮設橋 モバイルブリッジ®



広島大学・信州大学との共同研究開発案件

先進建設・防災・減災技術フェアin熊本（11月19・20日）にて

実機展示予定



POINT 1

軽い

POINT 2

簡単

POINT 3

早い

軽量アルミ合金製

機械式伸縮装置

急速施工（約70分）

（DX）鋼材検収作業の自動化



みずほリースとの共同研究開発案件

中期経営計画期間内での運用開始を目指す

工場検収作業の省人・省力化



POINT 1

単眼深度推定

画像データ活用計測

POINT 2

複数視点統合

複数画像合成計測

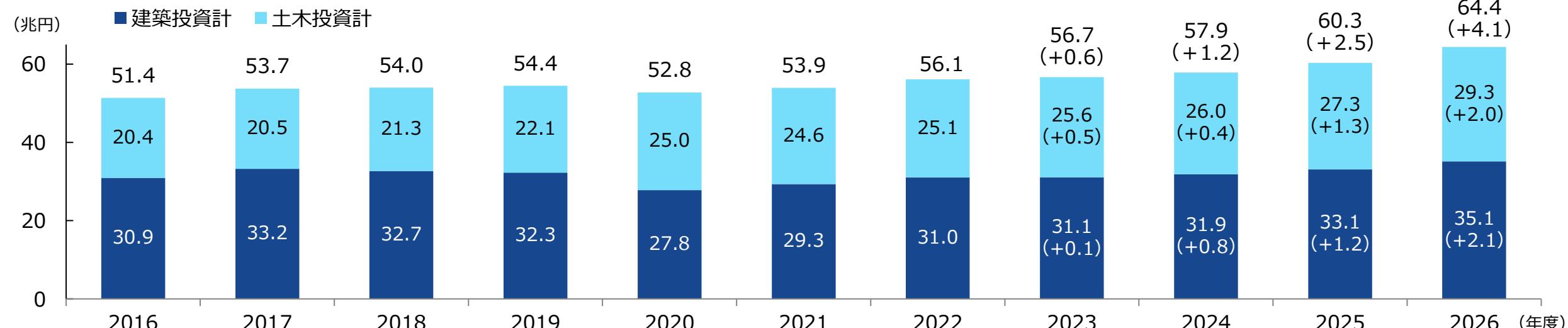
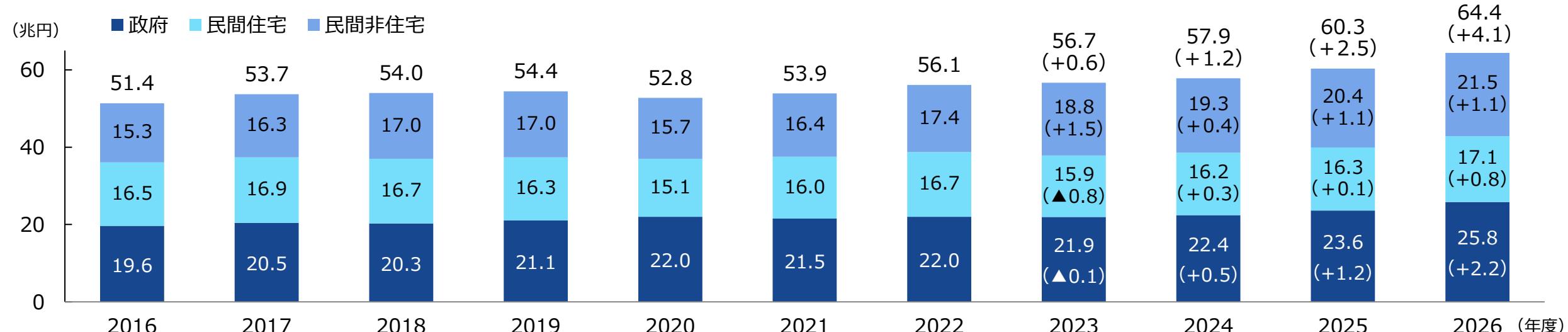
POINT 3

3Dスキャナ

データ集

建設投資額（名目値）の推移

※建設経済研究所 2025年10月10日
 ※建築補修（改修・改築）投資額を除く
 ※2025年度、2026年度は見通し。カッコ内は前年度比



売上高 連結



経常利益 連結



売上高 連結

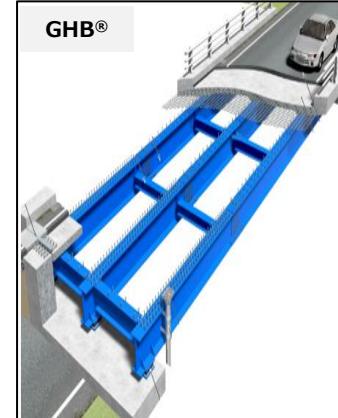
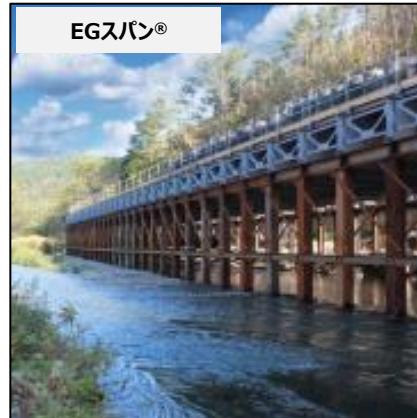


経常利益 連結



当社保有技術・商品を展示会に出展し、広くPR

出展予定技術 (商品名)	展示会名							
	EE東北	けんせつフェア北陸 in新潟	建設技術展近畿	先進建設・防災・ 減災技術フェアin熊本	建設技術展関東	建設技術フェアin松山	建設技術フェアin中部	
	6月4~5日	10月1~2日	10月30~31日	11月19~20日	11月19~20日	11月21~22日	12月4~5日	
Ecoラム®工法	●	●	●		●		●	
構台回転杭	●		●	●	●		●	
EGスパン®	●	●	●	●		●	●	
モバイルブリッジ®	●	●	●	●	●		●	
H形鋼橋梁GHB®	●	●	●	●	●	●	●	
BROKK	●	●	●	●	●		●	
ALITRAK	●	●		●				
OTO®ドリル	●	●	●	●	●		●	





「支える力」で、未来を拓く。